

卒業にあたって

機械工学科5年 木田 誠

最初に、今まで生活面など様々なことで支えてくれた親をはじめ、奈良高専に入り5年の間で勉強や研究、進路のことなどで熱心にご指導して下さいました先生の方々に感謝の気持ちをこの場を借りて申し上げます。

5年前に奈良高専の機械工学科に入り、今卒業を迎えることを思えば、この5年間はあっという間に過ぎたように感じます。1、2年生では実習工場での実習、3年生では自分たちで考えた装置の設計および製作、また、4、5年生での工学実験、そして、今までの勉強の集大成である卒研など、この5年間で私たちは様々なことを学び、体験してきました。特に、4、5年生での工学実験と卒業研究では、大変悩まされていたことが、記憶に新しいです。しかし、みんなで相談しながら乗り切ってきました。

学級担任 廣 和樹

5Mの皆さん、卒業、おめでとう。奈良高専機械工学科で学ばれた皆さんには、今それぞれいろんな思い出があることと察します。とにかくおめでとう。これからはそれぞれ別の道を進んで行き、この先、どんな出来事が皆さんを待ち受けているのかわかりません。しかしある程度の予測をつけることは努力次第で可能だと思います。何があってもあわてず冷静な対応ができるかどうかは、結局のところそれぞれの努力によるのだと思います。いかなるときも、お世話になった人達への感謝の心と誇りを持って研鑽されることを願っています。ありがとう。お元気で。Please allow my usual comments. See you again.



勉強の面では苦勞したことはいろいろありましたが、日々の生活では部活動や友だちとの遊び、そして、学校行事のスポーツ大会では一致団結して1位を狙うことなどこの5年間で楽しむ時間もたくさんあり、結構楽しい日々だったと思います。

私たちは奈良高専を卒業します。これからは更に専門知識を深めようとして進学する人もいれば、実社会に出てこれまで経済的に支えてくれた親から自立し世の中で働く社会人になろうとする人もいます。皆、それぞれ別れて違う道を歩いていく中で、この先、様々な困難や苦勞などの壁があると思いますが、奈良高専で学んだことを活かして立ち向かっていけると思います。

最後になりますが、先生の方々、部活の後輩、そして、クラスのみんな、ありがとうございました。

電気工学科5年 山本 弘貴

この5年間の学生生活で印象に残っている思い出を綴りたいと思います。5年前の春、桜咲き誇る中、期待と不安を抱きながら奈良高専に入学しました。

初めは静か過ぎて、教室のドアを開けるのも気を使うクラスでしたが、初めての学校行事であるスポーツ大会でクラスメートが一致団結して優勝してから、とても騒がしくなりました。1、2年生の時に担任だったせ～やん(北川誠之助先生)に、「教室が汚いから掃除しろ」とか「授業中は座れ」とかよく言われたのを覚えています。3年生では学生生活5年間の中で唯一ハイキングが実施できた年でした。しかし3年生の時は、インフルエンザが大流行した年で社会工場見学旅行もなくなりました。なのであまりいい思い出はありませんが、E科は学級閉鎖にはならず、元気に学校生活を送ったことだけははっきり覚えています。4年生になり、クラス内でみんなが進路を意識し始め、テストの度にクラスの雰囲気が悪くなっ

学級担任 藤井 治久

皆さん、卒業おめでとうございます。苦樂を共にした同級生と別れ、一人ひとりが新しい人生の道のりを歩んで行くこととなります。奈良高専で学んだ知識を今後の人生に役立てて欲しいのは当然ですが、同級生との思い出も大切に生きて行って欲しい。

さあ、大いなる真昼の海へ旅立って下さい。

ていきました。不安でもありながら高専祭で「石飛珈琲店」を出店すると、クラス全体が協力的で、とても楽しかったのを覚えています。5年生は学年生活の中で一番忙しかった1年でした。進路活動からはじまり、進路が決まると卒業研究、クラス行事、卒業旅行、テスト、研究発表会など毎日めまぐるしく過ごしました。

この春から、就職、進学とそれぞれ進む道は異なりますが、いつの日かみんな仲良く思い出を語り合えたらいいなと思います。また最後になりましたが、仲良く卒業を迎えることの出来た33人のクラスメート、今までご指導して下さった先生方、また見守ってくれた両親に心から感謝したいと思います。5年間委員長をさせて頂きありがとうございました。

